

修正についての一覧表

(1)事務局修正内容について

該当ページ	修正前	修正後
16ページ	<p>●各階に<u>多目的トイレ</u>を設置し、市民利用の多い低層階にはオストメイト※9対応設備を設置するなど、様々な利用者のニーズに合わせた設備・配置とします。</p> <p>≪<u>多目的トイレの例</u>≫</p> <p>(新規)</p>	<p>●各階に<u>バリアフリートイレ</u>※9を設置し、市民利用の多い低層階にはオストメイト※10対応設備を設置するなど、様々な利用者のニーズに合わせた設備・配置とします。</p> <p>≪<u>バリアフリートイレの例</u>≫</p> <p>※9:バリアフリートイレ…高齢者や障がい者等の利用に<u>適正な配慮が必要なトイレの総称。(国土交通省指針)</u></p>
23ページ	<p>■<u>緑化の目標</u></p> <p><u>再整備および新設する公共施設の緑被率は、教育施設は30%以上、その他の施設は20%以上を確保することを目標とします。</u></p> <p>■<u>公共施設の緑のあり方</u></p> <p><u>1)官公庁の庁舎や学校などの施設を建設する際には、地域において緑豊かな拠点となるように植栽スペースに配慮した計画とします。</u></p> <p><u>2)公共施設の計画地において良好な樹林地または貴重な樹木などがある場合は、それらの保全・活用を検討するものとし、やむを得ずそれができない場合は施設の敷地内または市内の適地において、新たな緑化を図り緑の総量確保に努めるものとします。</u></p>	<p>■<u>駅前や公共施設、商業施設敷地や沿道の緑化や花づくり</u></p> <p><u>公園や道路、市庁舎、小広場や商業施設など皆が集まる空間の緑をデザインする際には、せん定の際の樹形を損なうことのないような配慮や、江別らしさの代表的な素材であるレンガなどとの調和、隣接する施設との連携や統一感、歓迎ポイントなどの特徴ある空間、景観や江別らしさ、地域の個性などに配慮した緑のデザイン、イメージアップを行い、地域のシンボルや親しまれる緑の拠点となるように努めます。</u></p> <p>■<u>公共空間での緑化の推進</u></p> <p><u>公共施設においては、庁舎などの周辺緑化や屋内緑化を図るなど、緑化推進の取組を率先して行います。また、学校などは自然環境教育のために生態系が体験できる空間としての緑地づくりを検討します。さらに各庁舎の敷地に応じて木陰やベンチなどの施設を充実させ、気軽に散歩や休憩などができる、地域に開放された緑の拠点となるよう努めます。(中略)</u></p> <p><u>また、公共施設を再整備もしくは新設する場合には、緑被率が教育施設は30%以上、その他の施設は20%以上となるよう努めます。</u></p>

該当ページ	修正前	修正後
31ページ	≪他自治体との比較≫岩見沢市(令和元年完成)	≪他自治体との比較≫岩見沢市(令和3年完成)
34ページ	これにより来庁者駐車場は、	また、繁忙期に実施した本庁舎周辺の駐車台数調査結果(資料編62ページ)も踏まえ、来庁者駐車場は、
35ページ	≪江別市立地適正化計画(素案)で示す都市機能誘導区域≫ (資料:令和5年度 第3回江別市都市計画審議会資料)	≪江別市立地適正化計画____で示す都市機能誘導区域≫ (資料:江別市立地適正化計画)
48ページ	≪財源内訳≫ 地方債 122.5億円 一般財源 28.8億円	≪財源内訳≫ 地方債 122.0億円 一般財源 29.3億円

(2)意見を受けた修正箇所に関する案について

該当ページ	修正前	修正後
9ページ	SDGsの17のゴール一覧の下の空白部分	「7エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「11住み続けられるまちづくりを」の項目についてはわかりやすく記載  7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  11 住み続けられるまちづくりを